



あんぽ柿向け 放射能検査機器
日立造船

日立造船は十八日、福島県あんぽ柿産地振興協会より、放射性セシウム濃度非破壊検査機器の設計・製造・現地での据付けを受注したと発表した。これは、同社が福島県特産品のあんぽ柿（生写真）向けに、放射性セシウ

ム濃度を測定する非破壊検査機器めぐみを納入するもので、機器は十一月までに、伊達市、桑折町、国見町の果実選果場など、五か所に計十台が設置される予定だ。これにより、あんぽ柿の出荷箱（八トレー入り）形態で、一トレー単位の連続的な測定が可能となる。あんぽ柿は、生柿を加工・乾燥するため、製造過程で果実に含まれる放射性セシウムが濃縮されることから、他の果樹類よりも徹底した対策が求められる。主産地の伊達地方では、原子力事故後、一、二年の二年間にわたり加工を自粛し、樹体洗浄、原料柿の検査などを行ってきた。

プラズマ加熱に前進

原子力機構 2つの周波数出力で

日本原子力研究開発機構



構は二十二日、二つの周波数が出力可能なマイクロ波源「ジャイロトロン」(写真)を開発し、核融合炉が必要となるkWの高出力を百秒以上維持することに世界で初めて成功したと発表した。「三極型電子銃を用いた周波数ごとに電子ビームの特性を変え、二つの周波数に対し、低損失・高出力を実現したもので、現在、同機構が建設中の超伝導トカマク型核融合実験装置「JT-60SA」で進めているプラズマ加熱装置開発に向け

「宇宙博2014」開催 中
「宇宙博2014」の迫りに感銘を受けた記者の追記「宇宙博2014」は、アメリカ航空宇宙局(NASA)と宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力により実現した国内最大級の宇宙イベントで、九千平方メートルの大フロアの中に、米国外では初めて展示される火星探査車「キュリオシティ」の実物モデル機や、触れることのできる隕石

「宇宙博」といえば、四十歳以上の読者なら、かつての科学館で展示されたサターンロケット「宇宙博2014」に体感することができる。対象に、TV遠隔システムを活用し、各地の大学を拠点に原子力基礎教育を施す取組だ。今回は、北海道大学、八戸工業大学、茨城大学、東京工業大学、金沢大学、福井大学、大阪大学、岡山大学、九州大学、京都大学、名古屋大学、湘南



「宇宙博」といえる、など、約五百点の展示品が並び、宇宙をリアルにかつての科学館で展示されたサターンロケット「宇宙博2014」に体感することができる。対象に、TV遠隔システムを活用し、各地の大学を拠点に原子力基礎教育を施す取組だ。今回は、北海道大学、八戸工業大学、茨城大学、東京工業大学、金沢大学、福井大学、大阪大学、岡山大学、九州大学、京都大学、名古屋大学、湘南

原災避難時間 試算結果公表

新潟県

新潟県は二十六日、原子力災害時の避難時間推計シミュレーション結果を発表した。自主避難者、天候、観光客の集中など、様々な条件が避難車両の流動に与える影響を明らかにし、より実効性ある

広域避難対策に反映させるもの。シミュレーションで、標準ケースとして、平日の日中、即時避難区域(PAZ、原子力災害対策指針で発電所から概ね半径五km)の住民と自主避難者の九〇%が三十km圏外に避難した後、避難準備区域(UPZ、同三十km)が避難を開始、

全国で受講可 TVセミナー

次回9月2日

全国各地の大学をTV遠隔システムで結んで原子力・放射線に関する一斉講義を行う「原子力基礎シリーズ・セミナー」が、二月の開講から数え

次回、九月二日の講義で第四回目となる。大阪大学から配信される今回は、「放射線と医療工学」がテーマ。今回は、北海道大学、八戸工業大学、茨城大学、東京工業大学、金沢大学、福井大学、大阪大学、岡山大学、九州大学、京都大学、名古屋大学、湘南

TENEX

Leading Supplier of Nuclear Fuel Cycle Goods and Services



株式会社テネックス・ジャパン
TENEX-JAPAN Co.,

東京都港区虎の門5丁目11番2号 オランダヒルズ森タワー14F
(Tel):03-5776-1511 (Fax):03-5776-1512 (E-mail): info@tenex.co.jp